

今月のコラム

Vol.7「男女共同参画の視点から見る防災」

今年度内閣府が発行した「平成29年度版男女共同参画白書」によると、全国の市区町村防災会議委員に占める女性割合は8%で、うち鹿児島県平均は5%、本市も同じく5%と、全国平均より低い割合となりました。

平成25年に内閣府が採択した「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」では、東日本大震災において、衛生用品等の生活必需品が不足したり、授乳や着替えをするための場所が無かったり、「女性だから」という理由で当然のように食事準備や清掃等を割り振られた避難所も見られたといった報告があり、平常時から男女共同参画の視点を反映した災害対応について関係者が理解しておくことが重要だと呼びかけています。

また、他人に弱音を吐くことを避ける傾向にある男性の精神面での孤立が課題であり、相談窓口の整備・周知を図る取り組みが行なわれています。

災害時は安全・安心の確保が急務となります。災害から受ける影響は男女で異なる事について、配慮を行うことが求められています。

「クロワッサン特別編集 女性目線で徹底的に考えた防災 BOOK」 (出版社／マガジンハウスムック)

家族やペット、そして自分自身を守るために、日常どんな備えが必要なのかを改めて考えます。東日本大震災を経験したアドバイザーが、震災の際に何が必要だったか、被災生活で困難だったことなど、防災の盲点を含む現実を語ります。家族全員の防災意識を高めるきっかけとなるかもしれません。



本の紹介 Book introduction

防災ツールで災害情報を入手しましょう！

①防災ラジオ

FM たるみず (77.7MHz) より最新の情報をゲットしましょう。



②垂水ほっとメール

災害情報等を携帯・スマートフォンへ配信します。

◎市 HP より会員登録

右記 QR コードより登録方法についてご確認ください。



③垂水市総合防災マップ

防災に関する多くの情報を記載しています。

◎主な記載情報

防災対策
各種災害
避難情報
防災マップ
医療情報



お知らせ Information

第10回垂水市ふるさと 俳句コンクール入賞作品の紹介

◎学校教育課／☎ 32-7213

教育長賞
3点

- ▶スイングと いっしょにまきこむ 秋の風
新城小学校 5年 平良 梨夏
- ▶田の水面 浮かびし景色 線対称
垂水中央中学校 2年 川畑 岳生
- ▶大人びた 笑顔をつくる 浴衣かな
垂水高等学校 1年 牧元 亜実

特選
11点

- ▶つなひきを おうえんしてる お月様
新城小学校 5年 平良 梨夏
- ▶赤く燃え ゆらいで見える 彼岸花
水之上小学校 5年 内田 陽梨
- ▶夕立が ぼくの背中を 追いこした
椋原小学校 6年 森山 結太
- ▶祖母笑う 子牛産まれた 夏の朝
松ヶ崎小学校 5年 湊崎 敦也
- ▶薩摩芋 姉弟三人 三等分
垂水中央中学校 2年 町田 匠
- ▶不意打ちで 灰を舞わせる 野分かな
垂水中央中学校 3年 菅井 惇志
- ▶咲いたのは 雲より白い 枇杷の花
垂水中央中学校 3年 寿山 礼
- ▶獅子舞に 泣きわめく子らの 健やかさ
垂水高等学校 1年 久富木 舞
- ▶緒を引いて 夜道に誘う 蛍かな
垂水高等学校 1年 川畑 理桜
- ▶走り出す 我的足下 跳ぶバツタ
垂水高等学校 3年 宮迫 舞
- ▶陽炎や ゆがむ視界に 映る君
垂水高等学校 3年 砂田 隼斗

cotu-cotu

コッコツは
学びの始まり

俳句づくりをとおして、児童生徒が「ふるさと垂水」を見つめ直し、郷土を愛する心情を培うとともに、日本語のもつ美しさや俳句のリズムを理解し、表現力を向上することを目的として、「第10回ふるさと俳句コンクール」を実施しました。垂水市内小・中・高等学校から

555人、746句の応募がありました。その中から教育長賞・特選作品をご紹介します。

■教育長賞選評（抜粋）

①平良梨夏さんの作品

一瞬の印象を捉えた句です。「まきこむ」に、「スイング」の強さがよく表れています。俳句は静の

情景を詠うものが多いのですが、この句は動の情景になっています。

②川畑岳生さんの作品

観察の鋭さがよく表れている句です。句の意は明らかで、言われてみれば誰でも気づく情景ですが、実はそれを「線対称」と見るのはなかなかできることではありません。

③牧元亜実さんの作品

繊細な感覚でつくられた句で、友人が浴衣姿で大人っぽく笑ったとも、自分が浴衣姿で笑顔をつくったとも解釈できます。解釈の多様性を許すのも優れた句の特徴です。

